

## 2020年12月期 決算短信(日本基準)(連結)

2021年2月5日

上場会社名 日本セラミック株式会社  
 コード番号 6929 URL <https://www.nicera.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 谷口 真一  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画室長 (氏名) 藤原 佐和子  
 定時株主総会開催予定日 2021年3月26日 配当支払開始予定日 2021年3月9日  
 有価証券報告書提出予定日 2021年3月26日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 0857-53-3838

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年12月期の連結業績(2020年1月1日～2020年12月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期	17,116	7.9	2,846	10.2	3,008	15.7	2,133	21.6
2019年12月期	18,575	4.8	3,169	14.7	3,570	13.2	2,722	7.1

(注) 包括利益 2020年12月期 2,069百万円 (9.9%) 2019年12月期 2,297百万円 (40.2%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年12月期	82.19		4.4	5.5	16.6
2019年12月期	101.06		5.4	6.3	17.1

(参考) 持分法投資損益 2020年12月期 百万円 2019年12月期 百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年12月期	53,926	49,880	89.2	1,867.21
2019年12月期	55,635	51,769	89.7	1,870.45

(参考) 自己資本 2020年12月期 48,120百万円 2019年12月期 49,887百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年12月期	2,918	75	3,974	21,606
2019年12月期	4,073	162	3,499	22,617

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年12月期		0.00		70.00	70.00	1,867	69.3	3.7
2020年12月期		0.00		70.00	70.00	1,804	85.2	3.7
2021年12月期(予想)		0.00		50.00	50.00		49.6	

(注) 2020年12月期期末配当金の内訳 普通配当 50円00銭 特別配当 20円00銭

### 3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日～2021年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,900	17.7	1,550	43.4	1,700	37.5	1,200	34.3	46.56
通期	18,600	8.7	3,300	15.9	3,600	19.7	2,600	21.8	100.89

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 以外の会計方針の変更 : 無  
 会計上の見積りの変更 : 無  
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年12月期	27,231,257 株	2019年12月期	27,231,257 株
期末自己株式数	2020年12月期	1,459,760 株	2019年12月期	559,634 株
期中平均株式数	2020年12月期	25,963,451 株	2019年12月期	26,942,447 株

(参考)個別業績の概要

2020年12月期の個別業績(2020年1月1日～2020年12月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期	14,047	10.7	2,262	3.4	2,369	8.0	1,874	1.7
2019年12月期	15,736	9.0	2,342	10.8	2,574	8.7	1,842	6.1

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期	72.20	
2019年12月期	68.40	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2020年12月期	42,338		38,897		91.9		1,509.31	
2019年12月期	44,501		41,007		92.1		1,537.48	

(参考) 自己資本 2020年12月期 38,897百万円 2019年12月期 41,007百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

業績予想につきましては現時点で判断できる一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、決算説明会の開催を中止いたします。なお、決算補足説明資料につきましては、当社ホームページに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	2
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 連結貸借対照表 .....	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	6
連結損益計算書 .....	6
連結包括利益計算書 .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(連結貸借対照表関係) .....	12
(連結損益計算書関係) .....	12
(セグメント情報等) .....	14
(1株当たり情報) .....	15
(重要な後発事象) .....	15

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度の世界経済は、新型コロナウイルス感染症が世界的に拡大する中、中国では経済活動の回復がいち早く進んでいますが、欧米ではワクチンの承認や接種が始まったものの、感染拡大がより一層深刻化、一部地域ではロックダウンとなるなど、経済活動再開への不透明感が強い状況となっています。わが国においては、感染拡大防止と経済活動の両立をはかる中で、個人消費の持ち直しに限界があるほか、設備投資の減少が続くなど依然として厳しい状況にありました。しかしながら輸出や生産においては持ち直しの動きがみられ、自動車関連など堅調に増加しました。

この様な状況の中で当社グループでは、品質・信頼性の高いセンサやモジュール製品の開発、移動制限がある中でもリモートワーク等による拡販に努め、生産現場の改善活動を通じた原価低減により利益率の向上に注力して参りました。市場の動向としましては、非接触で人を感知して電源を入れる事ができる自動照明やホームオートメーション機器等の需要が伸びたことから、それに搭載される赤外線センサの売上高が増加となりました。その他当社各種製品の出荷数も、コロナウイルス感染症の影響により落ち込んでいた自動車業界を始めとする顧客の生産販売や、当社の生産が回復するのに伴い第3四半期以降増加しましたが、それまでの減少をカバーしきれず売上高は対前期比で減少しました。また、近年自動車の電動化推進に伴い電流センサの引合いが増加しておりますが、当連結会計年度は新型コロナウイルス感染症の影響により国内企業向けの開発案件の遅延を受けるなど売上高は減少しました。

上記の結果、売上高は17,116百万円（前年同期比7.9%減）となりました。利益面では、売上高の減少から営業利益は2,846百万円（前年同期比10.2%減）となり、経常利益は営業利益同様の理由により3,008百万円（前年同期比15.7%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は2,133百万円（前年同期比21.6%減少）となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### a. 資産

当連結会計年度末の流動資産は、前連結会計年度末に比べ1,236百万円減少し42,857百万円となりました。その主な要因は、自己株式の取得等により現金及び預金が1,583百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ472百万円減少し11,068百万円となりました。その主な要因は、第1四半期で計上いたしました投資有価証券売却益216百万円の要因となる株式の売却、株価の下落により投資有価証券が421百万円減少したことなどによります。

これらにより資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,708百万円減少し53,926百万円となりました。

#### b. 負債

当連結会計年度末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ180百万円増加し4,046百万円となりました。その主な要因は、設備関係支払手形が337百万円増加したことなどによります。

#### c. 純資産

当連結会計年度末の純資産は、前連結会計年度末に比べ1,889百万円減少し49,880百万円となりました。その主な要因は、利益剰余金が親会社株主に帰属する当期純利益により266百万円増加したこと、自己株式が新規取得により1,841百万円減少、その他有価証券評価差額金が276万円減少したことなどであります。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

営業活動によるキャッシュ・フローにつきましては、税金等調整前当期純利益が3,116百万円、減価償却費996百万円などの収入要因がありましたが、法人税等の支払額841百万円などにより全体では2,918百万円の収入（前連結会計年度は4,073百万円の収入）となりました。前連結会計年度末と比べて1,154百万円の収入減となりました。その主な要因は、税金等調整前当期純利益が516百万円減少、たな卸資産の増加645百万円、仕入債務の減少272百万円などであります。

投資活動によるキャッシュ・フローにつきましては、定期預金の払戻等により純増638百万円の収入、有形固定資産の取得による支出799百万円、投資有価証券の売却による収入239百万円などにより全体で75百万円の収入（前連結会計年度は162百万円の支出）となりました。前連結会計年度末と比較して237百万円の収入増加となりました。その主な要因は、定期預金の払戻等により純額で350百万円減少、有形固定資産の取得による支出が476百万円減少したことなどであります。

財務活動によるキャッシュ・フローにつきましては、自己株式の取得による支出1,841百万円、配当金の支払額1,866百万円などにより全体で3,974百万円の支出（前連結会計年度は3,499百万円の支出）となりました。支出額が前連結会計年度末に比べ474百万円増加しましたが、その主な要因は自己株式の取得による支出が320百万円増加したことなどであります。

以上の項目に換算差額を調整した結果、当連結会計年度末の現金及び現金同等物は1,010百万円減少し残高は21,606百万円となりました。

#### (4) 今後の見通し

今後の経済見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症による多大な影響があると考えられますが、保護主義による世界経済の失速の懸念が強く先行きの見通しが厳しいものであることから、消費の低迷、値下げ要求や競争激化なども含めて当社グループを取り巻く事業環境も大きく改善することは難しいと判断しております。

そのような状況の中、当社グループでは

- イ. 需要が見込まれる自動運転、電気自動車、家電などの省エネ関連分野に対して品質の強化と安定した供給体制構築に努めます。
- ロ. 上記分野及びその他の分野のセンサ製品などの開発と量産を進め、新たな業界への拡販に努めます。
- ハ. 開発、生産、販売のリードタイムの短縮など原価改善を継続し、安定的な利益を確保した上でより強固な経営基盤の構築に努めます。

2021年12月期通期業績見通しは以下のとおりであります。

##### 連結業績見通し

売上高	18,600百万円
営業利益	3,300百万円
経常利益	3,600百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	2,600百万円

なお、業績見通しにおける為替レートは1米ドル=104円を想定しており、為替差損益は見込んでおりません。

上記の見通しは現時点で判断できる一定の前提に基づいており、実績は見通しと異なる場合があります。

その主な要因としましては、

- イ. 為替レートの変動
  - ロ. 当社の事業に関連する地域の需要動向、資源の供給状況並びに経済状況の変化
  - ハ. 新型コロナウイルス感染症の状況、動向
- などがありますが、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当連結会計年度 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	34,456	32,873
受取手形及び売掛金	3,505	3,201
電子記録債権	1,387	1,711
たな卸資産	4,496	4,713
その他	249	358
貸倒引当金	△1	△0
流動資産合計	44,094	42,857
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	9,393	9,454
減価償却累計額	△4,877	△5,218
建物及び構築物（純額）	4,516	4,235
機械装置及び運搬具	10,691	11,556
減価償却累計額	△8,870	△9,334
機械装置及び運搬具（純額）	1,820	2,221
土地	3,186	3,153
建設仮勘定	131	102
その他	1,612	1,664
減価償却累計額	△1,475	△1,519
その他（純額）	137	144
有形固定資産合計	9,792	9,858
無形固定資産		
土地使用権	373	365
その他	30	28
無形固定資産合計	403	393
投資その他の資産		
投資有価証券	1,113	692
繰延税金資産	195	91
その他	122	115
貸倒引当金	△87	△82
投資その他の資産合計	1,344	816
固定資産合計	11,540	11,068
資産合計	55,635	53,926

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当連結会計年度 (2020年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,404	1,523
設備関係支払手形	78	415
電子記録債務	-	842
未払金	311	277
未払法人税等	450	245
賞与引当金	18	15
役員賞与引当金	30	17
その他	300	382
流動負債合計	3,593	3,719
固定負債		
退職給付に係る負債	225	265
その他	46	61
固定負債合計	272	327
負債合計	3,865	4,046
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,994	10,994
資本剰余金	13,319	13,319
利益剰余金	26,188	26,455
自己株式	△1,543	△3,384
株主資本合計	48,959	47,384
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	106	△169
為替換算調整勘定	687	797
退職給付に係る調整累計額	135	108
その他の包括利益累計額合計	928	736
非支配株主持分	1,881	1,759
純資産合計	51,769	49,880
負債純資産合計	55,635	53,926

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)	当連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)
売上高	18,575	17,116
売上原価	13,243	12,112
売上総利益	5,332	5,004
販売費及び一般管理費		
発送運賃	343	421
販売手数料	40	37
貸倒引当金繰入額	△0	△0
役員報酬	78	65
給料及び賞与	541	500
旅費及び交通費	76	28
減価償却費	142	135
支払手数料	102	101
研究開発費	234	367
租税公課	229	210
その他	371	290
販売費及び一般管理費合計	2,162	2,157
営業利益	3,169	2,846
営業外収益		
受取利息	318	257
受取配当金	43	28
受取地代家賃	108	142
貸倒引当金戻入額	-	1
その他	26	18
営業外収益合計	497	447
営業外費用		
為替差損	36	212
賃貸収入原価	58	72
その他	1	0
営業外費用合計	96	285
経常利益	3,570	3,008

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)	当連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)
<b>特別利益</b>		
固定資産売却益	85	3
投資有価証券売却益	-	216
関係会社清算益	-	7
補助金収入	40	-
特別利益合計	125	227
<b>特別損失</b>		
固定資産除却損	25	20
固定資産圧縮損	38	-
特別退職金	-	24
新型コロナウイルス感染症による損失	-	74
特別損失合計	63	119
税金等調整前当期純利益	3,632	3,116
法人税、住民税及び事業税	902	641
法人税等調整額	△105	223
法人税等合計	796	864
当期純利益	2,835	2,251
非支配株主に帰属する当期純利益	113	118
親会社株主に帰属する当期純利益	2,722	2,133

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)	当連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)
当期純利益	2,835	2,251
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△81	△276
為替換算調整勘定	△441	120
退職給付に係る調整額	△14	△26
その他の包括利益合計	△538	△182
包括利益	2,297	2,069
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	2,239	1,941
非支配株主に係る包括利益	58	128

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	10,994	13,319	25,370	△22	49,663
当期変動額					
剰余金の配当			△1,905		△1,905
親会社株主に帰属する当期純利益			2,722		2,722
自己株式の取得				△1,521	△1,521
その他					-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	817	△1,521	△703
当期末残高	10,994	13,319	26,188	△1,543	48,959

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	187	1,074	150	1,411	1,897	52,972
当期変動額						
剰余金の配当						△1,905
親会社株主に帰属する当期純利益						2,722
自己株式の取得						△1,521
その他						-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△81	△387	△14	△483	△15	△498
当期変動額合計	△81	△387	△14	△483	△15	△1,202
当期末残高	106	687	135	928	1,881	51,769

当連結会計年度（自 2020年1月1日 至 2020年12月31日）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	10,994	13,319	26,188	△1,543	48,959
当期変動額					
剰余金の配当			△1,867		△1,867
親会社株主に帰属する当期純利益			2,133		2,133
自己株式の取得				△1,841	△1,841
その他					-
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	-	-	266	△1,841	△1,574
当期末残高	10,994	13,319	26,455	△3,384	47,384

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	106	687	135	928	1,881	51,769
当期変動額						
剰余金の配当						△1,867
親会社株主に帰属する当期純利益						2,133
自己株式の取得						△1,841
その他						-
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△276	110	△26	△192	△122	△314
当期変動額合計	△276	110	△26	△192	△122	△1,889
当期末残高	△169	797	108	736	1,759	49,880

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)	当連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	3,632	3,116
減価償却費	918	996
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△12	△5
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1	△3
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	-	△12
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	9	16
受取利息及び受取配当金	△362	△285
為替差損益 (△は益)	6	79
投資有価証券売却損益 (△は益)	-	△216
固定資産売却損益 (△は益)	△85	△3
固定資産除却損	25	20
補助金収入	△40	-
固定資産圧縮損	38	-
新型コロナウイルス感染症による損失	-	74
特別退職金	-	24
関係会社清算損益 (△は益)	-	△7
売上債権の増減額 (△は増加)	△158	△13
たな卸資産の増減額 (△は増加)	442	△203
仕入債務の増減額 (△は減少)	228	△43
その他	27	8
小計	4,669	3,542
利息及び配当金の受取額	366	291
補助金の受取額	40	-
法人税等の支払額	△1,003	△841
新型コロナウイルス感染症による損失の支払額	-	△74
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,073	2,918
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△12,972	△14,219
定期預金の払戻による収入	13,961	14,858
有形固定資産の取得による支出	△1,276	△799
有形固定資産の売却による収入	119	42
無形固定資産の取得による支出	△4	△8
無形固定資産の売却による収入	10	-
投資有価証券の売却による収入	-	239
その他	0	△37
投資活動によるキャッシュ・フロー	△162	75
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△1,521	△1,841
配当金の支払額	△1,904	△1,866
非支配株主への配当金の支払額	△73	△87
非支配株主への清算分配金の支払額	-	△178
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,499	△3,974
現金及び現金同等物に係る換算差額	△73	△30
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	338	△1,010
現金及び現金同等物の期首残高	22,279	22,617
現金及び現金同等物の期末残高	22,617	21,606

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結貸借対照表関係)

## ※1. 連結会計年度末日満期手形等

手形交換日又は決済日をもって決済処理しております。従って、連結会計年度末日は金融機関の休業日のため連結会計年度末日満期手形等が以下の科目に含まれております。

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当連結会計年度 (2020年12月31日)
受取手形及び売掛金	21百万円	2百万円
電子記録債権	—	12

## ※2. たな卸資産の内訳は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当連結会計年度 (2020年12月31日)
商品及び製品	1,710百万円	1,510百万円
仕掛品	963	1,185
原材料及び貯蔵品	1,822	2,017

3. 当社は、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行1行と当座貸越契約を締結しております。この契約に基づく借入未実行残高は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当連結会計年度 (2020年12月31日)
当座貸越極度額の総額	3,000百万円	3,000百万円
借入実行残高	—	—
差引額	3,000	3,000

(連結損益計算書関係)

※1. 期末たな卸高は収益性の低下に伴う簿価切下後の金額であり、次のたな卸資産評価損が売上原価に含まれております。

	前連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)	当連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)
	185百万円	△156百万円

## ※2. 一般管理費及び当期製造費用に含まれる研究開発費の総額は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)	当連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)
一般管理費	234百万円	367百万円
当期製造費用	629	493
計	863	861

## ※3. 固定資産売却益の内訳は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)	当連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)
建物及び構築物	85百万円	—百万円
機械装置及び運搬具	0	1
土地	—	1
その他(工具、器具及び備品)	0	—
計	85	3

※4. 固定資産除却損の内訳は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)	当連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)
建物及び構築物	0百万円	2百万円
機械装置及び運搬具	17	13
その他(工具、器具及び備品)	6	4
計	25	20

※5. 新型コロナウイルス感染症による損失の内容は、次のとおりであります。

新型コロナウイルス感染拡大の影響によりフィリピン政府、自治体による都市間移動制限に伴い、フィリピン子会社において人員確保のために支出した宿泊施設費用などあります。

※その他の包括利益に係る組替調整額及び税効果額

	前連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)	当連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)
その他有価証券評価差額金：		
当期発生額	△116百万円	△181百万円
組替調整額	—	△216
税効果調整前	△116	△397
税効果額	35	121
その他有価証券評価差額金	△81	△276
為替換算調整勘定：		
当期発生額	△441	218
組替調整額	—	△98
為替換算調整勘定	△441	120
退職給付に係る調整額：		
当期発生額	△9	△18
組替調整額	△5	△4
税効果調整前	△14	△23
税効果額	—	△3
退職給付に係る調整額	△14	△26
その他の包括利益合計	△538	△182

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前連結会計年度(自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)

当社グループは、電子部品並びにその関連製品の研究開発及び製造販売を主たる目的とした単一事業であるため、セグメントの記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)

当社グループは、電子部品並びにその関連製品の研究開発及び製造販売を主たる目的とした単一事業であるため、セグメントの記載を省略しております。

## 【関連情報】

前連結会計年度(自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)

## 1. 製品及びサービスごとの情報

当社グループは、電子部品並びにその関連製品の研究開発及び製造販売を主たる目的とした単一事業であるため、セグメントの記載を省略しております。

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

(単位：百万円)

日本	欧州	アジア		北南米	合計
		中国	その他		
10,905	1,528	3,358	2,501	281	18,575

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

## (2) 有形固定資産

(単位：百万円)

日本	中国	フィリピン	その他	合計
6,831	727	2,233	0	9,792

## 3. 主要な顧客ごとの情報

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)

## 1. 製品及びサービスごとの情報

当社グループは、電子部品並びにその関連製品の研究開発及び製造販売を主たる目的とした単一事業であるため、セグメントの記載を省略しております。

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

(単位：百万円)

日本	欧州	アジア		北南米	合計
		中国	その他		
9,608	1,448	3,263	2,604	192	17,116

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

## (2) 有形固定資産

(単位：百万円)

日本	中国	フィリピン	その他	合計
6,962	679	2,216	0	9,858

## 3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：百万円)

顧客の名称	売上高
オーデリック(株)	1,727

## 【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2019年1月1日 至 2019年12月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2020年1月1日 至 2020年12月31日）

該当事項はありません。

## 【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

## 【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)	当連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)
1株当たり純資産額	1,870.45円	1,867.21円
1株当たり当期純利益	101.06円	82.19円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当連結会計年度 (2020年12月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	51,769	49,880
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)	1,881	1,759
(うち非支配株主持分)	(1,881)	(1,759)
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	49,887	48,120
期末の普通株式の数(千株)	26,671	25,771

3. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)	当連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	2,722	2,133
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	2,722	2,133
普通株式の期中平均株式数(千株)	26,942	25,963

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。